

## 第 44 回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会北海道予選会

### 大会展望

11月8日(金)から10日(日)にかけてウィンターカップ北海道予選が北見市を中心に開催される。男子26校、女子26校、計52校によって熱戦が繰り広げられる。

#### 男子

トーナメントをシード傘ごとに見てみる。まず、第1シードは王者東海第四が鎮座する。この座を揺るがすことができるのはやはり札幌予選4位とはいえ力のある札幌日大であろう。帯広北や釧路工業の戦い方も見物である。第2シードは札幌月寒。インターハイを経験したチームだけにその存在感は他を圧倒する。国体では旭川を最後まで苦しめた釧路代表の釧路北陽がどこまで食らいつくことができるのか。新人大会準優勝の駒澤苫小牧にもチャンスはある。海星学院-札幌南戦も楽しみなカードである。第3シードは旭川大学である。旭川予選でもほぼ互角の試合運びであった旭川工業がこの傘にいることはなにか因縁めいたものを感じる。国体で札幌を破って優勝するなど勢いに乗る旭川地区中心の戦いになりそうだ。恵庭南がどこまで噛みつけるのかにも注目である。第4シードは札幌工業。札幌地区3位の實力校。やはりこの傘もシード校が優勢だが函館大谷、函大有斗といった函館勢や帯広地区1位全道常連校の白樺学園がどのような戦い方をするのか興味が湧く。

#### 女子

優勝候補はインターハイ北海道予選においても圧倒的な強さをみせた札幌山の手。第1シードの山では札幌地区3位の札幌東商業と東海大四・函館柏稜の勝者が山の手との戦いに挑むであろう。第2シードの山では札幌地区2位の札幌創成が地区大会の勢いをもとに力を発揮するのか。旭川2位の旭川北や帯広大谷の戦い方も注目されるどころだ。第3シードは室蘭海星。この山ではとわの森三愛、函館大妻、北星学園女子などの全道大会常連校がひしめき激戦の山になっている。第4シードの山ではシード校の旭川藤と帯広1位の帯広南商業の戦いも注目が集まる一戦だ。北見地区1位の北見北斗も地元の声援を受け活

躍が期待される。札幌山の手の高さとスピード、選手層の厚さは他チームをリードしていることは間違いないが、最終日の決勝戦でウインターカップ出場の一枚の切符を争い大いに盛り上がる熱戦が期待される。

平成25年10月24日  
北海道バスケットボール協会強化委員会